

院内製剤及び適応外薬の医療行為への使用について

病院長

当院では、「院内製剤」と「適応外薬」について下記の通り使用しております。

院内製剤	主に保険医薬品ではないが医療上必要とされ、医学会のガイドライン等に従い病院内において医師の申請により薬剤師が調製する製剤であり、院内の委員会(倫理委員会)において審議し、その有効性・安全性に問題がないと認められた場合に限り、使用することとしています。
適応外薬	医薬品として薬事承認(保険適応)されているものの、承認された方法以外での使用方法が必要となった場合には、院内の委員会(倫理委員会)において審議し、その有効性・安全性に問題がないと認められた場合に限り、使用することとしています。

「院内製剤」及び「適応外薬」を使用する場合、医師等が説明文書などを用いて患者さまに説明し、同意を頂く場合があります。十分な科学的根拠があり、複数の患者様に有益であることが認められる場合には、文書による説明・同意取得を省き、この掲示により同意を頂いたものとさせて頂いています。ご不明な点は受診科の医師にお尋ねください。患者さまは、治療内容を確認し、治療を拒否することができます。各治療内容について詳しくお知りになりたい場合や治療を拒否されたい場合は、受診科の医師に申し出てください。

院内製剤及び適応外使用の医療行為への使用について一覧

2025.2.19

<院内製剤> 院内掲示による同意

製剤名	使用目的
0.2%インジゴカルミン液	胃・大腸内視鏡検査時のがんの精査目的
3%ルゴール染色液	食道内視鏡検査時のヨード染色
アズノールキシロカイン軟膏	抗がん剤治療中の口内炎治療
ミノサイクリン軟膏	MRSA 陽性創部治療

<適応外薬> 院内掲示による同意

薬剤名	使用目的
クエチアピン錠 25mg、デジレル錠 25mg、リスペリドン内用液 0.5mg、ハロペリドール注 5mg	せん妄と診断された又は、せん妄が疑われた患者への抗精神薬投与
ミダゾラム注 10mg	病棟・外来での治療、検査、処置時の鎮静に対する使用
1%プロフォール注	病棟・外来での治療、検査、処置時の鎮静に対する使用
ラクツロースシロップ 60%	高アンモニア血症の諸症状改善に対する注腸投与
チョコラA錠	創部治癒促進、頭蓋形成後の感染予防に対する投与
セフェピム塩酸塩静注	細菌性髄膜炎における初期治療に対する投与
エフィエント 20mg	急性期脳梗塞再開通治療時のローディング投与